

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 15030030

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	19	消防・救急・防災体制の強化	事業優先度	B		
単位施策	3	消防・救急体制の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	消防車両更新事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	15 消防支署		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	消防車両更新数		関係課	#N/A		
事業目標	3車両更新数		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 消防組織法、消防力の整備指針		
住民協働			関係個別計画名			

		全 体 計 画	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	消防車両更新		小型ポンプ積載車更新			小型ポンプ積載車更新	水槽付消防ポンプ自動車更新
	事業費(千円)	67,300	6,500	0	0	6,500	54,300
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	64,400	5,900			5,600	52,900
	その他	0					
実績事業費	事業費(千円)	66,942	6,497	0	0	6,439	54,006
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	62,100	5,600			5,600	50,900
	その他	0					
関連事項	特定財源の名称 H25 辺地対策事業債 H29 過疎対策事業債	【評価・実績】	(実施内容等) 小型ポンプ積載車更新 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 小型ポンプ積載車更新 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 水槽付消防ポンプ自動車更新 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1車両更新			1車両	1車両
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	99%	99%
		全体達成率	10%	10%	10%	19%	99%
		備考欄					

事業名	消防車両更新事業	評価者 管理職 職氏名	支署長	安本 明志美
		評価者 作成者 職氏名	警防係長	嶋村 猛

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	消防車両の整備・充実	
【抱える課題やニーズは】	消防車両の老朽化等	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	災害現場において支障をきたすことがないよう、老朽化が進んでいる消防車両を更新する。	① 水槽付消防ポンプ自動車更新	目標年度	平成29年度
			目標値	1台
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	複雑多様化する各種災害等に対応するため、消防車両を充実させ消防力の強化を図る。	②	実績値	1台
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	消防団幹部との協議	消防団幹部と消防車両の仕様及び整備・更新計画の細部について協議を行い決定する。		
	水槽付消防ポンプ自動車	消防団からの要望を踏まえた装備内容の車両とした。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の生命、身体及び財産を守るために、消防力の整備・充実が必要不可欠である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	消防活動は複雑多様化してきており、それに対応するため車両及び装備の近代化は重要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	災害現場での活動が容易になる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	消防車両更新事業は町民の生命、身体及び財産を災害や事故から守るための事業であることから公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画通り事業が進んでいる。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
この事業は消防力の水準を高めるため、適切に整備していく必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止